

協働の森パートナーズ協定

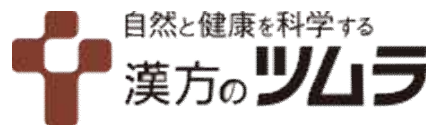
ツムラ出前授業

人が森を助ける。
森が人を助ける。



「環境先進企業との協働の森パートナーズ協定」については、
高知県林業振興・環境部林業環境政策課のHPをご覧ください
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/kyoudounomori.html>

協定企業：株式会社ツムラ様
開催場所：越知町立越知中学校
開催日：令和3年9月27日（月）
参加者数：35名



（(株)ツムラ3名、農事組合法人ヒューマンライフ土佐1名、
越知中学校25名、越知町5名、高知県1名）

株式会社ツムラ様との協定は平成20年6月9日に締結し、以来5期約13年にわたりご協力いただいています。

今回の交流活動は、越知中学校1年生の総合学習の一環として出前授業が開催されました。

まずは、農事組合法人ヒューマンライフ土佐 代表理事の高橋氏から越知町とツムラの関わりについてお話しいただきました。越知町の豊かな自然の中で漢方薬の素となる生薬が栽培されており、収穫された生薬をヒューマンライフ土佐で加工しツムラへ販売、ツムラがその生薬を使って漢方薬を作るそうです。越知町とヒューマンライフ土佐、ツムラのお付き合いは30年以上と、深い信頼関係を感じます。



ヒューマンライフ土佐 高橋氏が協働の森づくり事業についてお話しいただきました。

次に、ツムラ本社 福井氏からツムラの歴史やツムラで作っているもの、越知町との関係や漢方医学についてお話しいただきました。また越知町は、全国トップレベルの水質を誇る仁淀川や多種多様な植物の宝庫である横倉山を有する土地があり、このような恵まれた環境のおかげで良質な生薬を栽培することができるということもお話しいただきました。



ZOOMを使って、東京のツムラ本社から講演していただきました。

ツムラ高松支店 山本支店長からは、製薬企業の営業職であるMR（医薬情報担当者、Medical Representativesの略）についてお話しいただきました。医師や薬剤師に的確な情報提供をするため、医学的・薬学的な知識を身に付けるよう日々勉強されているそうです。

また、漢方の大家である大塚敬節、植物分類学の父である牧野富太郎はいずれも高知出身であり、日本有数の生薬産地である越知町を有するというので、高知が漢方と深い繋がりがあっても知りました。



ツムラの従業員約3,800人のうち、MRは800人ほどだそうです。

最後は学級活動として、今までの話しから、もっと聞いてみたいことや知りたいことを質疑応答する時間がありました。

「生薬は、豊かな自然の中でないと育たないのか？」

「甘い生薬はあるのか？」

「生薬を、日本でいちばん多く作っている所はどこ？」

「医療用でいちばんよく使われる漢方は何か？」

「医師のリクエストでつくる漢方はあるのか？」

といった、好奇心あふれるたくさんの質問がありました。

閉会式の終わりには、中学生からもご挨拶をいただきました。



学級活動の様子

今回の交流活動をきっかけに、中学生のみなさんが、身の回りの植物や、ふるさとである越知町の自然環境に関心を持っていただけたら嬉しいです！